



## 平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月13日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東  
 コード番号 2735 URL http://www.watts-jp.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280  
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績（平成27年9月1日～平成28年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	22,895	4.0	586	△26.7	585	△27.0	347	△29.6
27年8月期第2四半期	22,011	2.2	799	△11.8	800	△11.6	493	2.5

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 259百万円 (△54.6%) 27年8月期第2四半期 573百万円 (13.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	25.62	—
27年8月期第2四半期	36.40	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	17,689	8,996	50.9
27年8月期	17,877	8,966	50.2

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 8,996百万円 27年8月期 8,966百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	17.00	17.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年8月期の期末配当金には、会社設立20周年記念配当2円を含んでおります。

### 3. 平成28年8月期の連結業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,100	3.7	1,360	8.1	1,370	8.4	870	24.1	64.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年8月期2Q	13,958,800株	27年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	28年8月期2Q	410,825株	27年8月期	410,825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年8月期2Q	13,547,975株	27年8月期2Q	13,547,975株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、10月～12月の実質GDPの減少や、年明け以降の中国をはじめとする新興国経済の失速懸念を受けた、日銀による我が国初のマイナス金利政策の発動による追加金融緩和はあったものの、株式市場の急落と円安局面の修正が見られ、輸出企業の採算悪化が想定される状況となりました。

わが国の小売業界におきましては、昨年の消費税率引き上げ後の節約志向は根強く、加えて暖冬による冬物衣料の売上低迷等も重なり、個人消費は依然として本格的な回復には至りませんでした。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts（ワッツ）」「meets.（ミーツ）」「silk（シルク）」等を展開する当社グループは、前連結会計年度から、ビジネスモデルの再構築を進めております。

これは、実生活雑貨を中心にお買い得感のある商品群をプライベートブランド「ワッツセレクト」として開発・販売し、店舗においてはローコストでの出退店とローコスト・オペレーションを継続することで、お客様満足度の向上と店舗収益確保を両立させるという、従来培ってきたノウハウは活かしながらも、多様化する顧客ニーズに応えるために新たなブランド価値を創造すべく、店舗パッケージや商品構成、POSシステムの導入等のハード面、並びに店舗運営、従業員教育等のソフト面の双方を全面的に見直す取組みであります。

当該取組みによる新たな100円ショップ「Watts」は、新規出店と既存店改装によって着々と拡大しており、当第2四半期連結会計期間末店舗数は、47店舗となっております。現在のところ売上高は好調に推移しておりますが、引き続き店舗・商品の魅力を高める努力を続けるとともに、運営の効率化や経費のコントロールにも取り組んでまいります。

また、委託販売型の店舗については、テナント型のWatts店舗よりも設備投資額を抑えた新たなモデルである「Watts with（ワッツウィズ）」としての出店を始めており、当第2四半期連結会計期間末現在、10店舗を営業しております。

当社の基幹事業である国内100円ショップ事業におきましては、売上規模の小さな店舗が多い傾向は継続しているものの、通期計画の98店舗に対して49店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が29店舗（うちFC1店舗）あり、当第2四半期連結会計期間末店舗数は、直営が979店舗（21店舗純増）、FCその他が49店舗（1店舗純減）の計1,028店舗となりました。

その他の店舗の当第2四半期連結会計期間末店舗数につきましては、ナチュラル雑貨販売の「Buona Vita（ブォーナ・ヴィータ）」は直営を2店舗出店、3店舗退店し、22店舗（うちFC1店舗）となっております。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は、店舗数の増減はなく1店舗のままとりました。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA（こものや）」は、タイでは5店舗出店して27店舗、マレーシアでは3店舗出店して7店舗、ベトナムでは5店舗出店して8店舗、ペルーでは1店舗出店して3店舗となりました。中国での均一ショップ「小物家園（こものかえん）」は、直営店を2店舗出店し、計6店舗（うち代理商1店舗）となっております。加えて、日系百貨店などにおける催事販売は引き続き好調に推移しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は22,895百万円（前年同期比4.0%増、計画比100.9%）、営業利益は586百万円（前年同期比26.7%減、計画比102.8%）、経常利益は585百万円（前年同期比27.0%減、計画比102.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は347百万円（前年同期比29.6%減、計画比96.4%）となりました。（前年同期比は前年同四半期連結累計期間実績比、計画比は平成27年10月9日の決算短信で公表した平成28年8月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想比であります。）

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は13,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が360百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が164百万円、現金及び預金が410百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は4,537百万円となり、前連結会計年度末に比べて127百万円増加いたしました。これは主に、出店に伴って建物及び構築物が36百万円、工具、器具及び備品が110百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、17,689百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円減少いたしました。また、固定負債は973百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、8,693百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加いたしました。利益剰余金につきましては、116百万円増加いたしております。この結果、自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末は50.2%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて410百万円減少し、4,739百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は182百万円（前年同四半期は301百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益554百万円、減価償却費171百万円、売上債権の減少額161百万円であります。支出の内訳は、たな卸資産の増加額379百万円、未払消費税等の減少額131百万円、法人税等の支払額118百万円等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は365百万円（前年同四半期は244百万円の使用）となりました。この内訳は、新規出店等のための有形固定資産の取得による支出411百万円、敷金及び保証金の差入による支出123百万円、店舗閉鎖等による敷金及び保証金の回収による収入144百万円等であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は198百万円（前年同四半期は189百万円の使用）となりました。この内訳は、長期借入れによる収入400百万円、長期借入金の返済による支出369百万円、配当金の支払額229百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移しているため、平成27年10月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,149,822	4,739,144
受取手形及び売掛金	2,052,047	1,887,124
商品及び製品	5,634,254	5,994,436
原材料及び貯蔵品	8,970	11,167
繰延税金資産	237,046	227,451
未収消費税等	23,567	39,150
その他	383,606	274,046
貸倒引当金	△22,151	△19,800
流動資産合計	13,467,162	13,152,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,092,539	1,162,401
減価償却累計額及び減損損失累計額	△675,268	△709,033
建物及び構築物（純額）	417,270	453,368
車両運搬具	5,120	4,939
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,585	△2,945
車両運搬具（純額）	2,535	1,993
工具、器具及び備品	2,756,720	2,935,259
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,208,831	△2,276,537
工具、器具及び備品（純額）	547,889	658,722
土地	257,800	257,800
有形固定資産合計	1,225,495	1,371,884
無形固定資産		
その他	54,945	59,890
無形固定資産合計	54,945	59,890
投資その他の資産		
投資有価証券	384,556	351,688
繰延税金資産	124,803	141,106
差入保証金	2,532,536	2,524,427
その他	117,907	120,123
貸倒引当金	△30,298	△31,894
投資その他の資産合計	3,129,504	3,105,452
固定資産合計	4,409,945	4,537,227
資産合計	17,877,107	17,689,948

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,842,811	5,903,757
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	565,620	591,400
未払法人税等	137,910	234,450
未払消費税等	148,465	33,489
賞与引当金	139,148	152,712
その他	991,260	704,231
流動負債合計	7,925,215	7,720,040
固定負債		
長期借入金	468,441	473,655
退職給付に係る負債	156,184	160,796
役員退職慰労引当金	106,193	85,419
資産除去債務	62,442	62,371
その他	191,656	191,083
固定負債合計	984,918	973,326
負債合計	8,910,133	8,693,366
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,583,816	1,583,816
利益剰余金	6,905,180	7,021,984
自己株式	△84,123	△84,123
株主資本合計	8,845,171	8,961,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,735	5,728
為替換算調整勘定	111,066	28,877
その他の包括利益累計額合計	121,802	34,606
純資産合計	8,966,973	8,996,582
負債純資産合計	17,877,107	17,689,948



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	22,011,280	22,895,488
売上原価	13,650,608	14,315,713
売上総利益	8,360,671	8,579,774
販売費及び一般管理費	7,561,113	7,993,727
営業利益	799,558	586,047
営業外収益		
受取賃貸料	11,653	11,256
持分法による投資利益	10,892	2,567
貸倒引当金戻入額	3,574	—
その他	7,466	7,900
営業外収益合計	33,587	21,724
営業外費用		
支払利息	2,988	2,579
退店違約金	20,361	1,581
賃貸収入原価	5,403	5,327
為替差損	—	7,868
たな卸資産廃棄損	—	3,973
その他	3,446	1,366
営業外費用合計	32,199	22,695
経常利益	800,945	585,076
特別利益		
固定資産売却益	223	734
保険解約返戻金	229	—
受取補償金	336	16,949
特別利益合計	789	17,683
特別損失		
固定資産除却損	18,501	5,229
減損損失	14,746	43,286
特別損失合計	33,248	48,515
税金等調整前四半期純利益	768,486	554,243
法人税、住民税及び事業税	316,272	211,451
法人税等調整額	△40,904	△4,328
法人税等合計	275,368	207,123
四半期純利益	493,118	347,120
親会社株主に帰属する四半期純利益	493,118	347,120

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日）
四半期純利益	493,118	347,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,498	△5,007
為替換算調整勘定	51,622	△59,808
持分法適用会社に対する持分相当額	24,808	△22,380
その他の包括利益合計	79,929	△87,196
四半期包括利益	573,048	259,924
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	573,048	259,924

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	768,486	554,243
減価償却費	127,351	171,201
減損損失	14,746	43,286
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,368	△755
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,070	13,563
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,515	4,612
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,543	△20,773
受取利息及び受取配当金	△1,614	△1,313
支払利息	2,988	2,579
固定資産除却損	18,501	5,229
売上債権の増減額 (△は増加)	331,456	161,821
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△393,204	△379,633
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,765	101,926
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36,599	△131,876
その他	△265,437	△221,833
小計	593,115	302,278
利息及び配当金の受取額	1,553	1,263
利息の支払額	△2,966	△2,603
法人税等の支払額	△290,258	△118,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,443	182,928
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△207,214	△411,471
有形固定資産の売却による収入	360	5,691
敷金及び保証金の差入による支出	△89,653	△123,458
敷金及び保証金の回収による収入	66,588	144,148
資産除去債務の履行による支出	△5,575	△410
その他	△9,308	20,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244,803	△365,485
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	500,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△459,635	△369,006
配当金の支払額	△229,580	△229,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,215	△198,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,560	△29,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105,014	△410,677
現金及び現金同等物の期首残高	6,714,266	5,149,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,609,251	4,739,144

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。